

(6) ・「七月」^{〔七〕}
□ □

・□ □

□

(39) × 38 × 5 081

(2)の「若狭国遠敷郡」は現在の福井県小浜市周辺にあたる。(3)(4)の「近江国浅井郡」は琵琶湖の北東で、現在の滋賀県東浅井郡周辺である。(3)の上端は表面から小刀で切り込んだ後に折っている。又、下半の「郡田根郷」部分の両側縁は、文字の一部が削り取られており、下端は二次的に尖らせたものと思われる。(4)の上端も切り込みを入れた後に折られている。(5)の「益田郷」は所属する国郡名を明確にすることができないものの、(3)(4)に示された近江国浅井郡の中にも益田郷が存在することから、これも同国のものと思われる。

9 関係文献

柏原市教育委員会『安堂遺跡』(一九八七年)

(桑野一幸)

本簡研究 第三号

巻頭言——中国簡牘呼称についての提言——

大庭 脩

一九八〇年出土の木簡

概要 平城宮・京跡 平城京左京(外京)五条五坊七坪 藤原宮跡 稗田遺跡——下ッ道——長岡京跡 大蔵司遺跡 西沖遺跡 御殿・二之宮遺跡 野路岡田遺跡 多賀城跡 漆町西遺跡 桜町遺跡 白山橋遺跡 御館遺跡 御着城跡 鵜・城山遺跡 草戸千軒町遺跡 野田地区遺跡 観世音寺僧房跡 大宰府学校院跡東辺部

一九七七年以前出土の木簡(三)

平城宮跡(第二次・第二次北) 薬師寺 下岡田遺跡

中国における簡牘研究の位相

庸米付札について

静岡県城山遺跡出土の具注曆木簡について

草戸千軒町遺跡出土の木簡——形態を中心に——

彙報

池田 温
狩野 久
原 秀三郎
志田原重人

頒価 三五〇〇円 一四〇〇円